指定介護老人福祉施設《特別養護老人ホーム》入居申込書兼台帳

	フリカ゛ナ					申込	. 日		年	月	日	
					"	受付			年	月	目	
申	-		続柄		施設	受付	·番号					
込者氏	住所		記	担当	者名							
上 名				入欄		 社会福祉	· 法人	 、 賛 幸会	<u></u>			
	電話番号:					特別養護者	が人が	ーム はま	ゆう			
	携帯電話:					特別養護老人ホーム のでらはまゆう						
今後	、連絡等は申込	の方にさせてい	ただきます。		•	-						
	フリガナ			性	別	保険	者(番号)		.			
	氏 名			男	·女	被保	:険者番号	•				
	生年月日	明·大·昭	年 月 日(満	ĵ	歳)	要介	護度	1	• 2 •	3 · 4	• 5	
	要介護	年	月日か	16		変更	申請日					
	認定期間	年	年月日まで									
	自 宅	電話										
	住所						番号	•				
	現在の居所	□自宅で単身□高齢者のみ世帯□自宅で家族と同居□他施設や病院に入院入所中										
	同居者	□父母 □夫又は妻 □子ども □孫 □その他 □同居なし										
本	※自宅以	施設•病院等				住	₸					
	外に居住	の名称				所						
人	している	入所·入院	年月		∃から)	電話					
	場合に記入	期間	(年	ヶ月)		番号					
0)		□介護するものがいないため										
		□介護するもの	のが「高齢」、「障害	善」、 「独	矣病」 [。]	等に』	より十分な	介護	が困難な	ょため		
状	入居申込	□介護しているものが就労していることから、(昼間独居で常時の)十分な介護が困難なため										
\		□介護するものの身体的・精神的負担が大きく十分な介護ができないため										
況		口介護するものが遠方に居住していることにより十分な介護ができないため										
	理 由	□居住環境の事情により十分な介護が困難なため										
			等から退所を求め	かられて	ている	が自然	宅での介記	護が[困難な方	•		
		□経済的負担										
			が入所されるためには、		いずれか	いに該当	首することが必	要です	こ。ご自身の	判断で		
			項目に印をつけてくださ		ナトスナン	孛Ψ. ※	お田舎の確定	こるのは	日本化ナンジル五種	なけ目され	z	
	※要介護度		であって、日常生活に支 でがい等を伴い、日常								<i>、</i> る。	
	が1,2の方の	頻繁に見られる。	14% (4511 (1411)	工山(0)	17667	C / G/	· 6/11-1/(113/)	() () ()		шс 11 14		
	みが記入		別な虐待が疑われること	等により、	心身の	安全•罗	安心の確保が	困難で	ぶある 。			
		□単身世帯である、	同居家族が高齢又は病	弱である	等によ	り家族等	等による支援が	が期待	できず、かつ	ο,		
			ごスや生活支援の供給が					,		11.P*		
	本人の入居意向	11 希望している	る□迷っている□	拒否]]	ている	5円知	16サイい	ナンレト	□理解尿	は難に		

	担当				居宅介	·護支援		
	ケアマネジャー名				事業所	名	電話番号	
本	居宅サービスの利	用の有無	□ 有					
			□無					
人		□経管栄養	□胃ろう	ロイ	ノスリン	自己注射 □]人工肛門 □留置	カテーテル
	医療の	□その他()
		治療中の病						
の	状 況	受診している						
		《特記事項	$\langle \rangle$					
状		- NA 1/ - TR -	II	- I/.===			• / bits	-\
	AL MARK					し込んでいる	5 (箇月	T)
ЭП	他施設への	すでに申し込			D設名			
況	申し込み状況	今後申し込む			旧目目み、さ	の奴児左旦) 左 □	
	MARIE ARTUSTAN					かの経過年月	<u> </u>	ナルミの田
	はまゆうへの申し込み状況フリガナ	付食はよゆう) •0) (·6	いなまか	フ・毛1 <u> </u>	産はよゆり •		まゆりの生
主	万 受 有 有							
た	 続柄()年齢	()				
る					—— 等□親	族はないが援		 b者なし
介	意見等(現在の介)							
護								
者								
の								
状								
況								
	入居申し込みに際] 入居由]	込みから	人居契約	約までの	7手続き及び	 へ で 入居順位の決定力	 7法に
	ついて、施設から、			シロノベ	, , , , , , ,	- 1 11/11 - 1/4 - 0	> VIH (V) 12 * 2 V \ N L / \	- بسر <i>-</i>
			月	日	氏名		続柄()
	1 17		. *	••			WALLA	•
<u> </u>	今後、指定介護	老人福祉施 認	战(特別養	護老人:	ホーム)	への入居申	 込者の状況を調査	するために、
同							町村)に報告するこ	
意	します。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		-				
書		令和	年	月	日	氏名		
		HVFI		/1	H	~ √~µ		

様式2

指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】 入居選考調査票

入居日	入居申込者(本人)氏名						被保険者番号										
受	受付番号										保険者(都	番号)					
	事	業所名								連絡	各先電話番	号					
	担当	ケア	マネ	ジャー	一等氏	名				職	į	種					
						基	本	的		抨	価	基	<u> </u>	售			
		要	介語	隻 度	認知症	老人の日	日常生活自立度	在宅サービ	スの利	用率	介護者の	状況	地 域		合	計	
		1 •	2	• 3	Ι.	Па.	Ⅱ b. Ⅲ а			%	別紙参	阳台	同一市町 近隣所				
		4 •	5		∭b.	IV.	M 正常	□未利用□	入院・入	.所中		71.1	県内 ・	県外			
		点	数				点			点		点		点			
				本人	の心。	身の	状況】			ı	在宅生活	に支降	章がある	状況】			
ケ	令			常時分	護や身	見守りれ	が必要である				近くに在宅	サービス	事業者がた	なく利用だ	が困難		
	和			認知症	定を原因	まとする	6昼夜逆転・	非徊等の問題	行動が		十分なケア	が受けら	れない				
ア				あり、ク	介護者の	の日常	生活に支障	がある			病院などの	入院者で	で帰る家が	ない			
				食事•	排泄・ブ	人浴等	日常生活全组	投を通じ、介助	フ が		経済的理由						
マ	年			必要で	である						その他()		
<u>ب</u>	'			多少0	の一部介助や見守りを必要とする						【住環境】						
ネ				ほとん	ど自立	による	日常生活がで	可能である			居住環境の	事情に。	より十分など	介護が困	難		
ジ	月	3'∕ •		その他	1 ()		在宅サービ	スの利用	目に必要な	住環境に	支障があ	る	
	月	意		【介護	者の	状況]				施設や病院	から退所	所を求められ	れている			
ヤ				介護者	針がまっ	たくい	ない				その他()	
,				介護者	者がいる	が他に	こ介護や育児	見が必要な者が	いる	ı	参考項目]					
1	日	見		十分な	な介護が	逐難	(高齢、障害、	疾病、就労、		1	家族の負	担感					
				その他	1:)		介護疲れが	ひどい					
等				遠隔均	也にいる	·					在宅サービ	スを利用	しているか	うか 護疲力	れがある		
	≓ ⊓			近隣に	こいる						在宅サービ	スを利用	目にて順調				
記	記	書		同居0	家族が	いる	(人))			在宅サービ	スの利用	月はないがり	順調			
	_,			その他	1 ()	2	意思疎通						
入	入			【在宅	生活	継続	の可能性				慣れた人で	も意思す	棟通は困難				
	日日			極めて	困難						家族など慣れ	れた人な	いら問題ない	()			
欄	Н			在宅力	ナービス	を利月	用していても右	E宅生活に支降	章が		特に問題な	()					
				ある						3	入所につ	いて					
				検討0	分余地を	59					強く拒否して	こいる					
				在宅力	ナービス	の利用	用により在宅	生活の継続が	期待		強く拒否傾「	句		同意し	ている		
				できる							意思確認が	困難		強く望	んでいる		
				その他	1 ()		希望はしてい	いないか	ぶ同意してV	る			
		《特	· 記事	項》					-								

介		医療の必要性	
護	Æ		
	年	同居以外の親族や	
支	月	援護者の有無	
援	/1	在宅介護の可能	
専	日	性・介護者の事情	
門		家族の介護	
員	記	負担感	
記	7.	住環境の状況	
7.	入		
入		特記事項	
欄			

_	t ac di	い事ななり			71 LL 71 D		- H	Te 11	-	
	へけて中 I	込書受付日		T	受付番号	入所		年 月	日 T	A =1
		要介護度認知症高齢者の日常生活		在宅サービスの利用率	介護者の有無		地域性		\perp	合計
		1. 2. 3.	I • Па• Пb • Ша•	%	単身		同一	市町村		
		4. 5	Ⅲb · Ⅳ · M ·正	□未利用□入院・入所中	同居		圏域内隣接市			点
	 年		点	点	点			点		
施		【評価す	べき特記事項】							
	月									
設	日									
 記										
		A		大学儿 23~64 1日中	A =# -#		L de J		Т	Λ ⇒ι.
入		要介護度	認知症高齢者の日常生活自立度 I ・ II a ・ II b ・ III a ・ III b ・ IV ・ M ・正	在宅サービスの利用率	介護者の有無			或性	+	合計
		1. 2. 3.		%	単身		同一	市町村		
		4. 5		□未利用□入院・入所中	同居		圏域	内隣接市	4	点
7000	年		点	点	点			点		
欄	'	【評価す	べき特記事項】							
	月									
	目									

様式3	特別養護	養老人ホーム はまゆう 身体状	大況等調査票 令和 4	车 月 日					
			氏名	1 23					
身 体	食 事	□ 自立 □ 見守り □	一部介助 □ 全介助	特記事項:					
の	摂 取	(食事の種類) (主食) □常食 [□粥() □ミキサー						
状 況		(副食) □常食 [□刻み □ミキサー						
該	排 泄	□ 自立 □ 一部介助	□ 全介助						
当する		(おむつの使用) 口 なし	□ 昼夜 □ 夜間のみ						
	入 浴	□ 自立 □ 一部介助	□ 全介助						
も の	更 衣	□ 自立 □ 見守り	□ 一部介助 □ 全介助						
すべ	移 動	□ 自立 □ 見守り	□ 一部介助 □ 全介助						
てに		(歩行) □つかまり歩き □杖使用	□老人車 □車椅子 □寝たきり						
チ	寝返り	□ 自立 □ 一部介助	□ 全介助						
エッ	起上り	□ 自立 □ 見守り	□ 一部介助 □ 全介助						
ク	移 乗	□ 自立 □ 見守り	□ 一部介助 □ 全介助						
	視 力	□ 良好 □ 眼鏡							
	聴 力	□ 良好 □ 補聴器	□ 難聴						
	言 語	□ 良好 □ 失語 (手段	ξ:)						
		□ 経管栄養 □ 胃ろう □	インスリン注射 口 人工肛門						
	医療行為の 有無	□ 留置カテーテル□ 気管切開	□ 酸素療法 □ 疼痛看護						
		()						
認知	□ 一人で留守	F番が出来ない	□ 知らない間に居なくなったり、迷子	ーになったことがある					
症・	□ 電話の対応	ふがわからない	□ すぐに涙ぐんだり、感情が不安定である						
精	□ 買い物や金	全銭管理等のミスが多い	□ すぐかっとなったり、イライラする						
神の	□ 夜間の不眠	₹がある	□ 暴力を振るうことがある						
症状	□ ひどい物忘	にれがある	□ 介護への抵抗がある						
$\overline{}$	□ 自分の名前	前がわからない	□ 多動、落ち着きがない						
該当するもの全て	□ 家族の名前	前がわからない	□ 徘徊がある						
	□ 自分の居る	場所がわからない	□ 幻覚・妄想がある						
	□ 今の季節が	ぶわからない	□ 物を壊す、衣類を破る						
	□ 同じ話しを約	繰り返す	□ やたらに口に物をいれる(多食)						
にチ	□ 被害的な話	舌、作り話をする	□ 食べられない物を口に入れる	(異食)					
エッ	□ 収集癖があ	っち	□ 失禁がある(尿・便)						
ク	□ 火の不始末	ミがある	□ その他()					